

三和支所管内より

広がる仲間の輪。活動も楽しい！

おかだ みつえ
岡田 光江さん(47)

結婚を機に夫のご両親が営む農業を手伝い始めた光江さんは、近所の方からの誘いもあり10年程前にJA女性部三和支部に入部しました。同支部では、支所を拠点にした『みわミニマルシェ』や花の寄せ植え体験、視察研修などを展開。入部をきっかけに輪も広がり「部員同士の交流が楽しい」と話します。

『かざぐるま市』の委員も務めている光江さんは、新米まつりなどのイベントに参加するなど、メンバーと協力しながら活動しています。

現在、夫の両親に手伝ってもらいながら水稻やキャベツ、白菜などを家族4人で栽培している光江さん。仲間とのつながりを大切にしながら、「いつかは旦那と2人で義父母のような経営を目指したい」と前向きに努めています。

三和支部の
楠瀬理枝部長(左)と一緒に

本山支所管内より

健やかな成長を願っています

ついで ことり
筒井 琴梨ちゃん(5カ月)
父：太雅さん 母：愛梨さん

太雅さんと愛梨さんは、高校時代の先輩後輩で令和3年1月に入籍し、筒井家の長女として今年の7月に生まれた琴梨ちゃん。生後5カ月の琴梨ちゃんは、誰に対してもニコニコで、くしゃっとした笑顔がとっても可愛い女の子です。

産まれてくる赤ちゃんの名前には『ことり』と『つむは』の2つ候補があり、お腹の中にいる時から交互に名前を呼びかけていたご両親。「ことりちゃん」と呼びかけると、お腹の中でとても元気に動いたことから『琴梨』と命名しました。

ご両親は「人に優しく、元気に育ってほしい。やりたいことには、なんでも挑戦させてあげたい」と、琴梨ちゃんの健やかな成長を願っています。

日章支所管内より

自信の黒ニンニクをお試しあれ

かじ や しんいち
荻谷 信一さん(74)

不動産業のかたわら、南国市や香南市の夜須町、香我美町、野市町などで仲間とともに、農業や化学肥料を使わずに米や野菜を栽培している信一さん。無農薬で新鮮な野菜は、昨年野市町にオープンした『南国農家の市』で毎週金曜日に販売しています。

市では、季節の野菜などを手頃な値段で販売するほか、無農薬のにんにくを使った「にんにくみそ」や「黒にんにくみそ」などの加工品を販売。信一さんが試行錯誤を繰り返し手がけた黒にんにくは、見た目、味、全てにこだわり完成した自信の商品です。

「食の安全を追求しようと思い立ち上がった」と信一さん。誰もが安心して食べられるものを手間暇かけて栽培、加工しています。

香南市野市町母代寺310
毎週金曜日11時～営業

長地区 から こんには 今月の 気になる人

桜の季節に迎え入れました

ペット：サクラちゃん(6)
飼主：高橋 紅葉さん

動物の保護活動をしている方に譲渡してもらい5年前に高橋家に迎え入れたサクラちゃん。桜が満開を迎えた春に出会ったことから、家族で相談し『サクラ』と名付けました。サクラちゃんを迎え入れた当時、小学校1年生だった紅葉ちゃんも今では小学6年生。小さい頃からお世話をして、一緒に大きくなりました。

穏やかで優しい性格のサクラちゃんは、子猫のお世話が大好きです。以前、子猫を保護した時には、サクラちゃんが献身的にお世話。子猫のお母さん代わりとなり、育てていたそうです。

とても賢く、子犬の時からほとんど手がかからなかったサクラちゃん。ご家族の愛情を受けてすくすく成長し、家族に癒しを与えています。

まごころ込めて栽培しています

いわば こう
岩原 康さん(67)

南国市岡豊で40年以上果樹を栽培している康さんは、23歳で就農し果樹農家の道を歩み始めました。約25アールで露地ポンカン、50アールのハウスで『はるみ』を中心にポンカンなどを栽培しています。

『はるみ』は糖度が高く、食味の良さが特徴のみかん。「じょうのう(内皮)が薄く、味がいい!」と、康さんも10年以上前に試験的に栽培を始めました。口コミ等で評判が広がったことで、徐々に面積を増やし栽培。今作は来年1月中旬頃の収穫を見込んでおり、『かざぐるま市』や『風の市』などに出荷します。

長年の経験から樹の状態を見て、摘果や剪定にも力を注いでいる康さん。「期待に応えられるものを生産したい」と、まごころ込めて栽培しています。

本山支所管内より



久礼田支所管内より



5 南国市地域

管内小学校で稲刈り体験！



◀稲刈りを楽しむ児童
(後免野田小学校)



脱穀機での脱穀に
挑戦する児童
(久礼田小学校)

南国市管内の小学生が手植えた稲が収穫を迎え、稲刈りが行われました。後免野田小学校は10月13日、同校前の水田で5年生31人が手刈りと機械刈りを体験しました。JA青壮年部の廣井智さんが子どもたちに米作りを体験してもらいたいと指導しており、今年で9年目。児童らは、廣井さんからの説明を受けた後、横一列に並んで収穫しました。翌14日には、久礼田小学校の稲刈りが行われ、5年生22人が参加しました。児童らは、30分ほどかけて刈り取った後、脱穀も体験。水田を管理する岡崎茂さんは「無事、収穫を迎えることができて良かった」と話しました。

3 南国市地域

秋の実り！ 長岡青壮年が小学生とサツマイモを収穫



収穫を楽しむ児童ら

長岡青壮年部は10月12日、南国市下末松の約6アールの畑で、同市立長岡小学校の児童と4月に植えた「土佐紅」を収穫しました。農業に関心を持ってもらおうと20年以上前から部員らが企画している恒例行事。今年は、部員12人と同校の1、2年生、特別支援学級の児童ら60人が参加しました。児童らは、部員に教えてもらいながら1時間ほどかけて収穫を体験。「でっかいお芋が掘れて良かった」と収穫を喜びました。同青壮年部の山崎隆弘部長は、「体験を通して、食べ物を大切に食べる気持ちも育んでほしい」と話しました。

6 れいほく地域

国際園芸博覧会で快挙！ れいほく花き部会が祝賀会



受賞を祝して開かれた祝賀会

れいほく花き部会は10月27日、オランダで10年に1度開かれる博覧会『2022アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）』で、Floriade Excellence Award 2022を受賞した上田裕介の祝賀会を開きました。祝賀会には、部会員やJA職員、関係機関ら18人が参加。上田さんは、「みもり」の知名度向上を目指し、栽培にも力を入れていきたい」と意気込みを語りました。同賞は、コンテスト1回ごとに全部門の中から最も優れた1品種に与えられる賞。参加者は「今後も地域一丸となり、花き生産に取組んでいきたい」と飛躍を誓い合いました。

4 れいほく地域

ライスセンター最盛期



作業をするJA職員

れいほく営農経済センター土佐町ライスセンターでは、9月下旬より令和4年度産米の受け込みを開始しました。管内で最も生産量の多い「ヒノヒカリ」の収穫が10月中旬にピークを迎え、1日あたり最大約20tもの米が当ライスセンターに持ち込まれました。持ち込まれた米は、JA担当職員が乾燥、粳摺り作業を行い供出用米と保米にそれぞれ袋詰します。今年は2度の台風被害により、多くの水田で稲の倒伏が見られたものの収穫量は平年並み。作業は11月末まで行われました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



四方竹の規格を確認する生産者

1 南国市地域

秋のタケノコ 『四方竹』 出荷開始！



土佐かつおさんと野村さん

南国市特産の秋のタケノコ「四方竹」の出荷が10月5日から始まりました。出荷本番に備え同市白木谷、奈路地区でつくる四方竹生産組合は9日、目慣らし会を開催。生産者14人とJA職員、市場関係者らが参加し、規格の確認を行いました。今年は、残暑が厳しかった影響で生育はやや緩やかでしたが、水分も多く品質は良好。この日は生産者8人が118ケース（2kg、4kg合算）計482kgを出荷しました。作業は11月中下旬頃まで行われ、今年度は8750ケースの出荷を見込みます。同組合の長曽我部良親組合長は、「二本一本丁寧に仕上げているので、多くの方に味わってほしい」と話しました。四方竹の出荷を皮切りに管内では、イベントを開くなど消費拡大にも力を注ぎました。同月17日には、土佐かつおさんが『まっことゆず』を使った料理を紹介する番組『まっこと高知の実家メシ明日のお休みに食べる？』の収録が行われ、白木谷地区の野村和弘さんが出演。旬の四方竹をPRしました。



一丸となって戦った鹿児島全共

2 れいほく地域

鹿児島全共終幕！ 県勢が大健闘



鹿児島県で10月6～10日に開かれた『第12回全国和牛能力共進会（鹿児島全共）』が閉幕し、高知県代表として出場した計7頭の戦いが終わりました。大会では、出品牛の多くを黒毛和種が占める中、県勢は唯一の褐毛和種で上位入賞を目指し、奮闘しました。上位入賞は逃したものの、「土佐あかうし」の魅力在全国に発信し、5年後の北海道全共に弾みをつけました。成雌牛3頭を1群として出品する第4区には、18県から54頭が出場し、1等賞7席を受賞。今回、初の代表に選ばれた式地優貴さんは「緊張やプレッシャーもあったが、他県の共進会に対する取り組み姿勢や情熱、技を学ぶ貴重な経験になった。次回も出品できるように手を抜くことなく、しっかり管理をしていきたい」と話しました。同会は5年に1度開かれる『和牛のオリンピック』。今大会には、史上最多となる41県から種牛の部249頭、肉牛の部166頭、特別区24頭が出品され、改良の成果や優秀性を競いました。

えいのう～

役立つ！
得する！
情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

GAP揭示板特別号

「GAP」とは「Good Agricultural Practice」の略で、直訳すると「良い農業の取り組み」という意味になります。農業生産には食品安全や環境保全、労働安全などさまざまなリスクが潜んでいます。こうしたリスクを明らかにし、それを未然に防ぐための取り組みがGAPです。

GAPの流れ

①～④を繰り返して安心安全な農業を実践しよう！

作付け前点検



①これからの作業の注意点を点検用紙で確認する。

毎日・作業時点検



②ハウスや作業場にポスターを飾って、作業前に確認する。

毎月チェック



③毎月11日の「良い農業の日」に毎日点検、作業時点検シートにチェックする。

栽培終了後点検



④チェックしながら作業を振り返り、次作への改善点を見つける。

～どんなことをするの？～

「ほ場の衛生」や「生産履歴の記帳」など、日常で取り組んでいることが多く含まれています。そうした農作業を点検して記録したことを振り返り、改善点を次作に活かすというのがGAPの大きな目的です。

点検シート抜粋

- 「出荷調整時の衛生管理」… 出荷調整時は、手袋・マスク・衛生帽を着用していますか？
- 「農薬保管庫の整備」… 農薬保管庫内は整理整頓されていますか？
- 「作業者の安全確保」… 作業の際には、適切な作業着・防護具を着用していますか？

～GAPを実施した農家の声～

- ・今まで気づけなかったリスクに気づくことができた。
- ・当たり前の作業を点検シートで振り返ることができた。… etc

GAPは日々の積み重ねが重要です。

1日の作業を振り返り、改善を行う事で「安心・安全な農産物の生産」を実現しましょう。

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

0881-86312415

トンネルオクラの準備



南国営農経済センター 営農指導課 東山 司

◆圃場の選定

早朝からの日当たりがよく、排水の良好な圃場を選びます。また、線虫等の被害を回避するため連作は避けず、水稲栽培後の圃場が望ましいです。

◆土づくり

堆肥を施用すると草丈は伸びますが、その分増収が期待できます。年内に完熟した良質な堆肥を10a当たり、3t程度施用しておきます。

苦土石灰は、は種約一カ月前に10a当たり160～200kgを圃場全体に施用します。

◆施肥・畦立て

元肥は10a当たり、重焼燐20kg（又はようりん40kg）と硫加20kg、圃場によつてはCDUS555、20kgを目安とし、畦立て時に全面施用します。

畦立ては、排水を良くして畦の過湿を防ぐようなるべく高くあげ、収穫管理作業を容易にするため通路を広くとっておきます。

◆マルチ・湯タンポ・トンネル被覆

遅くともは種2週間前にはマルチ・湯タ

4月	3月	2月
上旬	中旬	中旬 上旬
トンネル換気開始	は種	マルチ・トンネル被覆 畦立て

◆は種時期

は種時期は3月中旬から下旬。無理な早播きや悪天候時は種は、発芽不良や病害の発生が多くなるので避けましょう。

◆栽培適期

エダマメのは種適期は、露地栽培だと、早生種では4～5月、中生種で5～6月です。

◆元肥

作付け10日前には苦土石灰、堆肥、肥料を施用し、よく耕耘しておきます。苦土石灰は10aあたり120kg～160kg。元肥は10a当たり成分量でチッソ5～6kg、リン酸12～15kg、カリ10kg程度を目安に施用します。なお肥沃な畑ではチッソを4kg程度に減らします。

◆畦立て

エダマメは畦幅150cm、条間45cm、株間20cmの2条植えとし、マルチを利用します。

◆は種

は種は、地温が15℃以上を目安とし、無理な早まきは避けましょう。欠株を防ぐため1穴に3～4粒播種し、本葉2枚までに1～2本となるよう間引きします。鳥害防止と発芽揃いのために不織布等をかけておきましょう。

エダマメの露地栽培



南国営農経済センター 営農指導課 森 圭吾

◆ポット育苗

エダマメはポットで育苗しても栽培できます。ただし、若干収量が落ちるので、欠株の補植用とした方がいいでしょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

日本の食を支える方々に感謝です。

(十市支所・64歳)

▼美味しい農畜産物を手間暇かけて作ってくれている生産者の皆さんに感謝ですね。地域農業を盛り上げていくためにも、地産地消を心掛けて応援していきましょう！

毎月手配りで届けていただいている『こうぐり』を楽しく拝読させていただいています。趣味程度の野菜づくりで専業農家ではありませんが、農業は最も重要な日本の産業であると思っています。今月号の『地域を盛り上げる若いチカラ』を読んで、日本の農業の未来は明るいと感じました。

(れいほく支所・73歳)

▼JA青壮年部は、様々な活動を通じて仲間づくりや地域農業の活性化を図る大切な役割も担っています。絶やすことのないように、受け継いでいってほしいですね。

ご近所さんの『さん花園』がどんな花を栽培しているのか知らなかったけど、詳しく紹介されていて良かった。南国市で作られた花を購入し、家に飾ろうと思いました。

(長岡支所・19歳)

▼四季折々の花々に癒されますね。家庭需要も高まっているので、地元で生産されている花をぜひ、取り入れてみてください。

『うちのくの台所』を拝見させていただきました。ピーマンもキムチも大好きなので両方を使った料理を紹介していただきありがとうございます。また、料理の献立に困った時にも見えています。

(本山支所・61歳)

▼ピーマンとキムチを使ったボリューム満点丼。彩りもよくて美味しそうでしたね！

年末年始の営業時間について

年末年始の営業について、下記のとおり営業時間の変更をお知らせいたします。ご迷惑をお掛けしますが、何卒宜しくお願いいたします。

お問い合わせ先

南国市地区：南国営農経済センター購買課
(TEL：088-863-2413)

れいほく地区：れいほく営農経済センター購買課
(TEL：0887-82-2805)

南国市地区

部 署	12/30 (金)	12/31 (土)	1/1 (日)	1/2 (月)	1/3 (火)	1/4 (水)
購買課	15時まで	休	休	休	休	通常営業
南国資材店舗	15時まで	12時まで	休	休	休	通常営業
南部資材店舗	15時まで	休	休	休	休	通常営業
長岡経済課	15時まで	休	休	休	休	通常営業
十市経済課	15時まで	休	休	休	休	通常営業
JAグリーンなんこく	通常営業	12時まで	休	休	休	通常営業
ごとおち市	13時まで	休	休	休	休	休 5日より通常営業
南国農機センター	通常営業	休	休	休	休	通常営業
日章給油センター	通常営業	17時まで	休	休	休	通常営業
長岡給油所	15時まで	休	休	休	休	通常営業
十市給油所	通常営業	12時まで	休	休	休	通常営業
あぐり食堂ほっと	27日から休	休	休	休	休	休 6日より通常営業
風の市	通常営業	12時まで	休	休	休	通常営業
かざぐるま市	通常営業	12時まで	休	休	休	通常営業
長岡集出荷場	通常営業	12時まで	休	休	通常営業	通常営業
中央集出荷場	通常営業	12時まで	休	休	通常営業	通常営業
南部集出荷場	通常営業	12時まで	休	休	通常営業	通常営業
十市集出荷場	通常営業	12時まで	休	休	12時まで	通常営業

れいほく地区

部 署	12/30 (金)	12/31 (土)	1/1 (日)	1/2 (月)	1/3 (火)	1/4 (水)
大川支所 購買店舗	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
大川給油所	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
本川店	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
Aコープとさ	通常営業	17時まで	休	休	休	休 5日より通常営業
グリーンとさ	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
グリーンもとやま	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
グリーンおとよ	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
大田口給油所	通常営業	休	休	休	休	休 5日より通常営業
森給油所	17時まで	休	休	休	休	通常営業
さくら給油所	通常営業	17時まで	休	休	休	通常営業
土佐町農機センター	通常営業	休	休	休	休	通常営業
本山農機センター	通常営業	休	休	休	休	通常営業
大田口農機センター	通常営業	休	休	休	休	通常営業